

NCGM 職員の皆さま

平素より、医工連携室の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

MINC (Medical Innovation by NCGM and Commons) の会

「第32回海外医療機器の最新動向勉強会」を、12月4日(水)に開催いたします。

海外医療機器情報誌の日本語訳版「Medical Globe」

(オルバヘルスケアホールディング株式会社発行)から最新記事の抜粋を資料として、
情報共有をおこなう勉強会を、MINCの会として定期的を開催しております。

ご視聴を希望される方は、医工連携室までご連絡ください。

オンライン会議 URL (Zoom ウェビナー) をご案内いたします。

勉強会の入退室は自由となっております。

お問い合わせ先： 医工連携室 (担当：熊谷)

ikou@hosp.ncgm.go.jp

※外部の方は、共同開催の日本医工ものづくりコモンズの運営サイト(下記記載)よりお申込みください。

https://www.ikou-commons.com/ctg_education/ctg_s_group/minc32/

ご参加をお待ちしております。

よろしく願いいたします。

◆ MINC の会 第32回 海外医療機器の最新動向勉強会 ◆

日時：2024年12月4日(水) 18:00～20:00

場所：オンライン (Zoom ウェビナー)

対象：医療従事者と企業

医工連携室長

丸岡 豊

【プログラム】

※ コメントの関係で、通常会と異なり、プログラム順が変更になっております。

1. 開会挨拶

國土 典宏 国立国際医療研究センター 理事長
宮崎 英世 国立国際医療研究センター病院 院長
廣井 透雄 国立国際医療研究センター病院 副院長

2. ご来賓紹介・挨拶

経済産業省、厚生労働省、AMED、東京都、日本医療機器産業連合会

3. 勉強会の進め方及び教材/海外情報誌「Medical Globe」について

4. 海外医療機器の動向紹介とディスカッション・記事紹介

座 長： 丸岡 豊 国立国際医療研究センター病院 医工連携室長
福田 尚司 東京医科大学 心臓血管外科 教授
コメンテーター： 望月 修一 氏 山梨大学 大学院 総合研究部 医学域 臨床研究支援講座 教授
近藤 裕之 氏 特許庁 審査第二部 治療機器技術担当室長

(1) 腹腔鏡手術用 RDN システム HyperQure を開発する DeepQure 社

原 久男 国立国際医療研究センター病院 循環器内科

(2) Endogenex 社が 2 型糖尿病治療用アブレーションシステムを開発中

馬本 恒太郎 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科

(3) 注目記事紹介

Signum 社の痔ろう治療用インプラント BioHealx が米国で承認

5. 過去の勉強会でのご紹介機器のフォローアップ

6. 講評・閉会挨拶

谷下 一夫 日本医工ものづくりコモンズ 理事長